

2024

ヤマト繋がるプロジェクト活動報告書 Vol.4



概要

ヤマト福祉財団の助成のもと、ヤマト運輸労働組合青年部とNPO法人アクションポート横浜の大学生と一緒に福祉のボランティアを企画・実施することで、地域や福祉に貢献するプロジェクトです。

目的

- 1 社会人と学生が繋がり、多くの気づきが得られる協働作業の場をつくること。
- 2 コロナ禍での新たなオンラインボランティアを作り、地域の福祉活動に貢献すること。
- 3 参加者のボランティアへの関心と地域への関心を高めること。

ヤマト福祉財団
ヤマト運輸労働組合

アクションポート横浜
事務局

企画
ヤマト社員 + 学生 (3チーム)

当日ボランティア
ヤマト社員 + 学生

連携福祉施設
(各チームごと)

プロジェクトの流れ



■ 今年度のプロジェクト

2024年度のヤマト繋がるプロジェクトは「挑戦」の年でした。
初めての参加者がほとんどでしたが、各チーム全員が一丸となり、
それぞれの繋がりを深めることができました。

■ 参加者の声 今年度の参加者数は、約140人！



- 当日ボランティアや先輩、社員の方たち、何より来てくれたお子さんやご家族の方たちと交流を交えながら楽しむことが出来た（学生ボランティア）
- 参加しなければ絶対に関わることのなかった他県の青年部や学生、アクションポートの皆さまや施設の方々とたくさん関わることができたと、大人になってからは企画側に携わることがなかなか難しくなってくるので、とても良い機会になった（企画チームのヤマト社員）
- 企画から当日まで企画学生と利用者と職員と一緒に楽しめたことが良かった（連携施設）
- zoomからでも現場の楽しさが伝わってきた（ヤマト社員ボランティア）
- ご利用者も職員も、参加した皆が笑顔あふれる時間を過ごすことができました（連携施設）
- ヤマト社員さんや学生の方々に来ていただき、ご利用者さんがとても喜んでいた（連携施設）

■ 実施企画 今年度も三つのチームが企画を実施しました。

■ うちわを仰いでカラフルで賑やかな空間を楽しもう！



この企画のnote
はこちらから！



場所 東戸塚地域活動ホームひかり

日時 11月6日(水)14:00-15:00

企画概要 「猫」をテーマとしたうちわを作成し、
音楽に合わせてうちわ遊びを行う企画

連携施設：
東戸塚地域活動ホームひかり

コーディネーター：
とつか区民活動センター

みんなで繋がる宝探し



この企画のnote
はこちらから！



場所 都筑区役所6階多目的スペース

日時 11月23日(土)14:00-15:00

企画概要 ヤマト社員やPopolaの利用者さんによって
作られたお宝を子どもたちが見つけ出す宝探し
の企画

連携施設：

横浜市都筑区地域訓練会
とまとのうち・バナナのうちに

コーディネーター：

都筑区子育て支援センターPopola

シートにペイント！～世界に一つだけのランチョンマット・テーブルクロス作り～



この企画のnote
はこちらから！



場所 さかえ福祉活動ホーム

日時 11月16日(土)14:00-15:30

企画概要 不要になったベッドシートを利用して、語り
合いながらテーブルクロスやランチョンマッ
トを作る企画

連携施設：

さかえ福祉活動ホーム

コーディネーター：

横浜野七里地域ケアプラザ



note

企画秘話や学生の想いはぜひnoteでご覧ください。
過去の活動報告書や活動概要は裏面ホームページを
チェックしてください！

利用者さんがお宝の山を見て自分が作ったお宝を見つけて喜んでくれたり、「この中に自分が作った宝がなかったので持って帰ってくれたのかな？」とお話されていたお母さんがいたと聞いた時、企画終了後に当日ボランティアとして参加した学生さんと施設さんとお話していたり、施設さんのイベントに参加しようと考えてくれたことにも「繋がる」を感じました。(企画学生 早瀬ゆうか)

社員さんが作った作品を利用者さんが見つけ、それを宝箱に貼って1つのアートになった時は散らばっていた点が全て1つになったなあと思う、繋がった実感がすごく湧きました！(企画ヤマト社員 廣畑龍之介)

オンラインの方のアクションを届けて、参加されている方とオンラインの方が笑顔になった時。(企画学生 長岡胡桃)

初めての場所や人が苦手な特性を持つ子どもたちも、当日のボランティア学生さんのサポートやヤマト社員さんとのZOOMでの繋がり、事務局の方の気配りがあり終始笑顔いっぱいでお宝探しに参加できました。(連携施設 都筑区地域訓練会とまとのうち・バナナのうちに 山口久美)

全体会議において、全員で「エイエイオー」と声に出した瞬間、それぞれの場所や立場を超えて全員が一体となった感じがしました。(企画学生 阪本絢音)

2回目の参加でしたが、昨年ご一緒させていただいた青年部の方や元大学生さんのお顔を拝見することが出来て、懐かしく嬉しく感慨深かったです。(コーディネーター とつか区民活動センター 依田浩美)

今回お願いしたさかえ福祉活動ホームさんは、以前栄区内のコーディネーターがボランティアでお伺いしたりお世話になっていた施設です。コロナ禍で交流が途絶えていたのですが今回再び繋がりを持つことができました。プロジェクトのおかげです。(コーディネーター 野七里地域ケアプラザ 仲村淑子)

利用者が学生さんを楽しみに待っていたこと。
(連携施設 さかえ福祉活動ホーム 飯島俊和)

障害がある方が、繋がりさえすれば一緒に取り組むことが出来たり、笑いあったりしていました。(連携施設 さかえ福祉活動ホーム 犬塚裕補)

ヤマト繋がる
プロジェクトに
関わる皆さんに、
「繋がった瞬間」を
お聞きしました！

主催：NPO 法人アクションポート横浜
助成：公益財団法人ヤマト福祉財団
協力：ヤマト運輸労働組合・東戸塚地域活動ホームひかり・とつか区民活動センター
横浜市都筑区地域訓練会とまとのうち・バナナのうちに・都筑区子育て支援センターPopola
NPO法人こんちえと（さかえ福祉活動ホーム・さくらカンパニー）・野七里地域ケアプラザ

企画運営：(ヤマト運輸労働組合青年部)

沢崎志歩・藤木貴浩・永倉広樹・廣畑龍之介・江口純子・山川賢太郎
(企画学生)

阪本絢音・長岡胡桃・早瀬ゆうか・黒川桃佳・藤島美聡・岡部凜・柴藤一樹

事務局：高城芳之・酒見知花・鈴木麗加・今泉美範（アクションポート横浜）

(敬称略)

ヤマト繋がるプロジェクト報告書
発行年月：2025年2月
発行者：NPO 法人アクションポート横浜
デザイン：鈴木麗加

ヤマト繋がるプロジェクト報告書&HPはこちらから！
<https://yamatotunapro.wixsite.com/tsunapuro>



アクションポート
YOKOHAMA